

北陸新幹線レポート 《第12号》

～響くつち音、広がる未来～

令和3年7月15日発行

本レポートでは、県民のみなさんに100年に1度のプロジェクトである新幹線事業を見て、感じていただけるよう、今しか見ることができない工事の状況をはじめ、北陸新幹線に関する様々な情報を随時提供していきます。

南越（仮称）駅の駅名が「越前たけふ」駅に決定！

5月13日、JR西日本は、県内に唯一新幹線単独の駅として新設される南越（仮称）駅の駅名を「越前たけふ」と決定したと発表しました。昭和62年に南越駅と仮称されてから34年が経ち、ようやく正式名称が決まったこととなります。また、JR西日本管内で新幹線駅名のひらがな使用は初、北陸新幹線の駅でも初めてとなります。

駅名候補の選定にあたり行われた意見募集には1,427件の応募があり、最終的に北陸新幹線新駅駅名候補選定委員会において選定された6案が、越前市長からJR西日本金沢支社長へ提出されました。

JR西日本は、広域的な地域の名称であり、越前がに、越前和紙、越前海岸などの知名度の高いものも連想しやすい「越前」と、地域に根差した地名である「たけふ」を組み合わせることで、全国に向けた観光誘客など様々なPRにも資する名称であるという理由から、この名称を選定しました。

なお、昨年11月に本格着手した越前たけふ駅の駅舎建築工事は、ホーム上屋の鉄骨工事、屋根工事が完了し、駅舎正面の越前瓦も3月に設置されるなど、徐々にその全容を現わしつつあります。駅舎建築工事は、来年秋頃には完了する見込みです。



駅名決定までの経緯	
昭和62年2月	日本鉄道建設公団がルート概要の公表において、南越（仮称）駅を使用
令和2年5月15日	越前市が北陸新幹線新駅駅名候補選定委員会を設置し、第1回委員会を開催
令和2年6月15日～7月15日	駅名候補への意見募集
令和2年7月21日	第3回委員会において、6案を選定
令和2年8月11日	越前市がJR西日本金沢支社に新駅名候補の要望書を提出
令和3年5月13日	「越前たけふ」駅公表

駅西側に設置予定の「道の駅」は、1階に観光案内所や物産販売所などが配置され、2階には宴会やパーティーも開催可能な飲食施設が設けられる計画です。

4月9日には、関係者らが参加し、起工式が行われました。令和5年春に完成する予定です。



「道の駅」イメージパース



起工式 (令和3年4月9日)

芦原温泉駅・福井駅・敦賀駅の進捗状況

県内には、新設される越前たけふ駅のほか、既存駅の併設駅として、芦原温泉駅、福井駅、敦賀駅が設けられます。ここでは、各駅舎の工事とその周辺整備の状況をお知らせします。

○芦原温泉駅

昨年11月に本格着手した芦原温泉駅は、現在、ホーム上屋の鉄骨工事、屋根工事、外装工事や、コンコースの鉄骨工事および内装工事を進めており、**来年秋頃には完了**する見込みです。

また、駅西口では、あわら市が進めてきた**立体駐車場が完成**し、5月17日に竣工式が行われました。



○福井駅

昨年10月に本格着手した福井駅は、**ホーム上屋の鉄骨工事、屋根工事が完了**し、現在、外壁工事が進められています。駅舎建築工事は、**来年秋頃には完了**する見込みです。

また、福井駅前電車通り北地区A街区では、6月に**建物上屋の解体工事が完了**するなど再開発が進んでおり、福井駅周辺が生まれ変わろうとしています。



○敦賀駅

敦賀駅は、現在進めている駅部高架橋の土木工事が**完了した**後、**11月から駅舎建築工事に着手**し、**令和5年秋頃には完了**する見込みです。

また、敦賀駅西地区では、ホテルや飲食・物販施設、知育・啓発施設などの整備が進められており、4月14日には、**ホテル棟の新築工事起工式**が行われました。

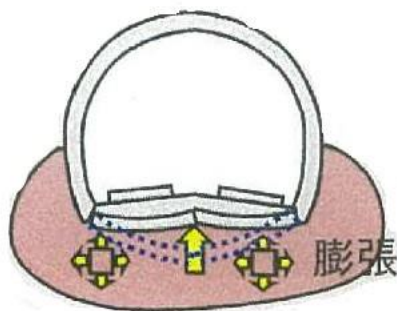


加賀トンネルの盤ぶくれ対策工事が完了しました

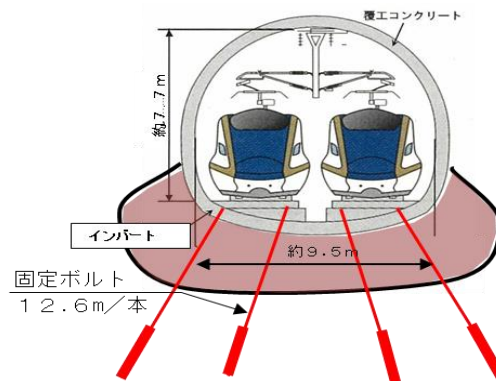
福井・敦賀開業の遅延の要因の一つとなった加賀トンネルの盤ぶくれについて、5月28日の工程・事業費管理連絡会議幹事会において、**対策工事として進めていた固定ボルト1,876本の打設が全て完了**したことが、鉄道・運輸機構から報告されました。

対策工事の完了後は、**約半年間経過観察**を行い、異常が無い事を確認した上で、**11月から軌道（レール敷設）工事に着手する予定**です。

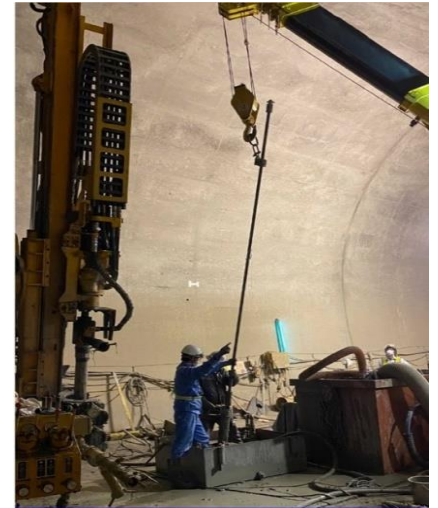
(注) 盤ぶくれとは、地盤が膨張しトンネル底部が押し上げられる現象のことです。対策として、固定ボルトを打ち込み、膨張する地盤を抑えます。



盤ぶくれ



盤ぶくれ対策工事（イメージ図）



盤ぶくれ対策工事の様子

工程・事業費管理連絡会議の開催と工事の進捗状況について

国、鉄道・運輸機構、関係自治体などからなる工程・事業費管理連絡会議が、今年1月以降、毎月開催され、鉄道・運輸機構から工事の進捗状況が報告されています。

これまでに、1月の大雪による作業中断、加賀トンネル盤ぶくれのクラック拡大、新型コロナウイルス感染者の発生、設備メーカーにおける火災などのリスク発生が報告されていますが、いずれも**全体工程への影響はなく、設定された工期内で計画どおり進捗**しています。

(開催経過)

- 1月22日 第1回工程・事業費管理連絡会議
- 2月19日 幹事会
- 3月26日 幹事会
- 4月26日 第2回工程・事業費管理連絡会議
- 5月28日 幹事会
- 6月29日 幹事会

(構成)

福井県・石川県・国土交通省・鉄道・運輸機構・JR西日本

※幹事会には、駅設置市（小松市・加賀市・あわら市・福井市・越前市・敦賀市）も参加



第2回工程・事業費管理連絡会議（令和3年4月26日）

赤羽国土交通大臣が敦賀駅等を視察しました

赤羽国土交通大臣が4月10日、福井駅と敦賀駅の建設現場を視察しました。

福井駅では、1階のコンコースや2階の新幹線ホームに足を運び、駅舎工事の進捗状況を確認しました。また、開業遅延の原因となった敦賀駅では、鉄道・運輸機構から、**北陸新幹線の駅舎の中で最も規模が大きく、限られたスペースの中での難しい工事**であることなど、工事の特徴について、説明を受けました。

また、杉本知事は、福井市内で赤羽国土交通大臣と面談し、金沢・敦賀間について、工事工程の管理を徹底し、**令和5年度末までに確実に開業させること**、敦賀・新大阪間について、**令和5年度当初に着工し、1日も早く全線開業を実現すること**などを要請しました。

視察後には、赤羽国土交通大臣から、金沢・敦賀間について「**必ず約束した期間に竣工させる**」と力強い発言がありました。



福井駅視察



敦賀駅視察

北陸新幹線建設局が新設されました

昨年の開業遅延・事業費増加を受けた再発防止策の一環として、4月1日、鉄道・運輸機構は、大阪支社を廃止し、地域密着型の組織として新たに**北陸新幹線建設局**を設置しました。翌2日には、3月に新たに就任した河内理事長が杉本知事を訪れ、「地域とのコミュニケーションを密にしたい」と抱負を述べました。

北陸新幹線建設局の県内の体制は、新設の渉外部3名を含む38名が順次増員され、**6月1日時点で総勢105名の体制**となっています。新たな体制の下、地元自治体との対面による意見交換など現場の情報共有を密にしながら、**令和5年度末の開業**に向けた工事が着実に進められています。



河内新理事長と杉本知事の面談（令和3年4月2日）



福井県・石川県・北陸新幹線建設局による合同会議（福井事務所）

発行：福井県地域戦略部新幹線建設推進課
〒910-8580 福井県福井市大手3丁目17-1
TEL：0776-20-0298
Email：shinkansen@pref.fukui.lg.jp

写真提供：独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構、
西日本旅客鉄道株式会社、越前市、あわら市、敦賀市
福井駅前電車通り北地区A街区市街地再開発組合

建設現場の定点写真、広報動画を公式Youtubeで公開中！

福井県 新幹線工事



QRコード